

科目名	こころとからだのしくみⅣ									
Course Name	Physical and Emotional Mechanisms IV									
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義			
担当者氏名	石川 幸子									
連絡先(質問等)	福祉棟 2 階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間以外									
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)									
関連 DP	DP2									
授業の概要と到達目標	<p><概要></p> <p>「こころとからだのしくみⅣ」では、身じたくや身体の清潔を保つことの意義、睡眠と休息の意義について理解し、身じたくや身体の清潔保持および睡眠に関するからだの構造や機能、心理的影響に関する知識を習得する。また、心身の機能低下や障害が身じたくや身体の清潔保持、睡眠に及ぼす影響について学習し、根拠を踏まえた生活支援技術との関連から、援助の方法や留意点、利用者への配慮について考える授業とする。</p> <p><到達目標></p> <p>①身じたくや身体の清潔保持・および睡眠と休息の意義について説明できるようにする。</p> <p>②身じたくや身体の清潔に関連するからだの構造や機能について説明できるようにする。</p> <p>③身じたくや入浴等が心身に及ぼす影響について説明できるようにする。</p> <p>④機能低下や障害が整容や入浴動作に及ぼす影響について体験を通して考え、説明できるようにする。</p> <p>⑤睡眠障害が心身に及ぼす影響および安眠への援助について、説明できるようにする。</p>									
授業の方法	講義科目であるが、心身の機能低下や障害が身じたくや清潔保持の動作に及ぼす影響については、グループディスカッション・発表を通して考える機会を持つ。また、睡眠障害の原因と安眠への援助についてもグループディスカッションを行い、学生自らが考える授業とする。									
学習成果	L01									
	L02	睡眠の必要性について説明でき、安眠を得るための方法について考え、具体的支援につなげることができる。身じたくや身体の清潔を保つことの意義とからだの構造および機能について関連付けて説明することができる。								
	L03	心身の障害により生じる整容や入浴動作等の制約、自立や QOL 向上のために必要なことについて考え、支援につなげることができる。								
	L04									
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。									
教科書/参考図書	教科書:①最新・介護福祉士養成講座 第 11 巻「こころとからだのしくみ」中央法規出版 (こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ・Ⅲと同じ) ②最新・介護福祉士養成講座 第 7 巻「生活支援技術Ⅱ」中央法規出版									
履修上の留意点やルール等	<p>●「生活支援技術Ⅳ」と関連付けて学習してほしい。講義・グループ演習に積極的に参加し、学びを共有すること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外の物を置くことは禁止する。演習には、ふさわしい服装で臨むこと。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。「生活支援技術Ⅳ」の進度により、授業内容を入れ替える場合がある。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>									
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:介護福祉士、職歴:通算 13 年)</p> <p>●特に高齢者介護の多様な経験を、清潔保持動作が身体に及ぼす影響の具体例を挙げることや、高齢者の睡眠障害の説明時等に活用する。</p>									
成績評価の方法と基準										
評価の領域	評価基準	学習成果の割合								
		L01	L02	L03	L04					
授業参加態度	教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、服装を整えてグループ演習に積極的に参加し、他者の意見を十分に聴き自分の意見を述べること。									20

レポート/作品	「機能低下が着脱や整容動作に及ぼす影響と必要な援助」のレポートを10回目に課す。S:演習における感想や学びが具体的であり、介護者の立場から利用者の自立やQOLについて考えられていること。			10	
発表	①機能低下が着脱や整容動作に及ぼす影響と必要な援助②不眠の原因と安眠への援助について、グループで発表する。発表内容(具体的でわかりやすく、十分に考察していること)や原稿を読むだけでなく、周囲に目を配ったり適切な声で発表している等で評価する。(各10%)		10	10	
小テスト					
試験	身じたくに関連するからだのしくみ、心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響、入浴・清潔保持のしくみ、心身機能の低下が入浴に及ぼす影響、変化の気づきと対応、睡眠のしくみ、心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響、変化の気づきと対応に関する理解ができています。			50	
その他					
合計				30	70

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・受講時の留意点など) 身じたくおよび身体の清潔を保つ意義
	事前・事後学習	入浴するとどんないいことがあるか列挙する。
2	授業内容	身じたく・入浴・清潔保持に関連したところのしくみ・からだのしくみ
	事前・事後学習	テキスト P114～P129 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
3	授業内容	発達段階と整容・清潔保持動作、整容・入浴等が心身に及ぼす影響
	事前・事後学習	テキスト P174～P182 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
4	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響①【講義とグループワーク】
	事前・事後学習	グループワークで出た意見をまとめる。
5	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響②【グループワーク】
	事前・事後学習	グループワーク出でた意見をまとめる。
6	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響③【発表とまとめ】
	事前・事後学習	発表の準備をする。
7	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響④ 入浴の種類【演習】
	事前・事後学習	自身の家の浴槽で、身体が不自由になった場合の使いづらさを列挙する。
8	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響⑤ 精神機能・身体機能の低下が整容動作・入浴動作に及ぼす影響
	事前・事後学習	テキスト P184～P193 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
9	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響⑥ 福祉用具の活用
	事前・事後学習	清潔保持に使う道具を調べる。
10	授業内容	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響⑦ 変化の気づきと対応(「身体機能低下が着脱や整容動作に及ぼす影響と必要な援助」のレポート 提出:第11回目)
	事前・事後学習	レポート作成。
11	授業内容	睡眠の生理的意味、加齢による睡眠の変化
	事前・事後学習	睡眠日誌を1週間分つける。
12	授業内容	心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響
	事前・事後学習	テキスト P258～P261 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
13	授業内容	睡眠障害の種類と原因【グループワークと発表】
	事前・事後学習	グループワーク出でた意見をまとめる。
14	授業内容	安眠への援助、変化の気づきと対応【グループワークと発表】
	事前・事後学習	発表の準備をする。
15	授業内容	援助における医療職との連携

	事前・事後学習	睡眠について医療職に聞きたいことをまとめる。
--	----------------	------------------------